

大崎生涯学習センタープラネタリウム機器大規模改造工事プロポーザル審査結果 について

大崎地域広域行政事務組合では、平成28年度に行う大崎生涯学習センタープラネタリウム機器大規模改造工事の優先交渉権者の選定を、指名型プロポーザルで実施しました。審査結果は、下記のとおりです。

記

1 優先交渉権者名

株式会社五藤光学研究所 取締役社長 五藤 信隆

2 参加業者

2社

3 審査の経緯

- (1) 平成28年 7月 8日(金) 大崎生涯学習センターで第1回審査委員会を開催し、実施要領、評価項目及び採点基準を決定した。
- (2) 平成28年 7月15日(金) 2社に対して指名通知書を発送した。
- (3) 平成28年 7月24日(日) 指名業者2社より、参加承諾届を受理した。
- (4) 平成28年 8月 4日(水) 指名業者2社より企画提案書等の応募書類を受理した。
- (5) 平成28年 8月29日(月) 大崎生涯学習センターで第2回審査委員会を開催し、参加業者より提出された企画提案書等の応募書類と30分のプレゼンテーション及び15分のヒアリングによる審査を評価項目及び採点基準に基づいて行い、優先交渉権者を選定した。

4 講 評

審査は、「会社概要及び財務状況調書」「類似業務実績調書」、「企画提案書」及びプレゼンテーションを10の評価項目及び31の評価の観点に基づいて行った。

本プロポーザルについては、いずれの参加業者も事業者としての経営基盤は十分であり、類似工事实績及び保守業務体制についても差が見られず、どの参加業者も業務受託が可能と判断したが、優先交渉権者が僅かに優位と評価された。

本工事見積金額及び長期費用見積金額については、配点基準に基づいて価格評価点として算定し配点した。本工事見積書の提案金額は、いずれの参加業者ともに限度内に収まっており、その差は僅かであった。一方、本工事後15年間の運用を想定した保守費用、

消耗品及び交換部品等の長期費用見積金額に関しては、最低見積額を提示した優先交渉権者と2番目の参加業者との差が大きく、評価点に差が開いた。

機器については、光学式プラネタリウム、デジタル式全天周映像装置、音響システム及びシステム全体の連動性及び操作性の4つの評価項目で評価を行った。いずれも、高度かつ独自の技術で特色ある機器の提案がなされ、機器の持つ性能や表現能力、操作性についても、いずれの参加業者も優れた水準が保たれていると判断した。本工事においては、光学式プラネタリウムにおける実際の星空と同等の美しい星空を特に重要視したが、この点についても、評価は僅差であった。その他の機器に関する技術提案の評価も僅差であった。また、現行機器の撤去、工期及び施工体制に対する評価も僅差であった。

一方、事業内容の理解、その他提案事項については、座席・カーペットの更新計画やリニューアル記念番組の有無によって、優先交渉権者は僅かに低い評価であった。

総合的に、いずれの参加業者も高い評価点であったものの、長期的な費用の低減に関して優れた提案を行った参加業者が優先交渉権者として選定された。

5 評価結果一覧

別紙「プラネタリウム機器大規模改造工事プロポーザル評価結果」のとおり

6 審査委員

荻野 信男 大崎市生涯学習課長（副委員長）

佐々木寿行 色麻町社会教育課長

和田 幸蔵 加美町生涯学習課長

藤崎 義和 涌谷町生涯学習課長

高橋 章一 美里町まちづくり推進課長

大平 敏雄 プラネタリウム番組検討委員会委員長（委員長）

星 和彦 宮城県北部教育事務所次長プラネタリウム番組検討委員

鈴木えり子 プラネタリウム番組検討委員

林 達也 組合教育委員会教育次長兼総務課長

別紙1

プラネタリウム機器大規模改造工事 プロポーザル評価結果

※ 審査員9人による採点の合計得点により1位業者を選定。

No.	評価項目	株式会社五藤光学研究所	提案者2	配点
1	事業者の経営基盤, 類似工事実績 及び保守業務体制	128	124	135
2	本工事の見積金額	0	0	225
3	長期的な費用の 見積金額	225	162	225
4	光学式プラネタリウム	282	281	315
5	デジタル式全天周 映像装置	169	167	180
6	システムの連動性, 操作性, コンテ ンツ制作, 運用面	206	208	225
7	音響システム	79	82	90
8	現行機器の撤去	42	35	45
9	工期及び工事履行体制	83	86	90
10	事業内容の理解, 提案事項	239	249	270
総合計		1453	1394	1800
平均点		161.4	154.9	
順位		1位	2位	

※上記の評価表における優先交渉権者名以外は、匿名とする。